

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	13.東京都
市区町村名	13120練馬区
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組※交付申請時に変更した場合は、これまでの取組状況	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年目標値	本年実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
13120練馬区	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	放課後や長期休業中に、児童の体験活動や児童同士の交流を行うことができる環境を、区内全小学校に整備する必要がある。 実施にあたっては、放課後児童クラブを利用している児童を含めて、体験活動等にすべての児童が参加できる環境であることが肝要である。 また、地域人材による体験活動等を活発に行い、児童と地域の人材との接点を増やす必要がある。	放課後児童対策パッケージに基づく放課後児童クラブとの校内交流型事業への移行を進め、放課後子供教室を長期休業中も実施することで、両事業が同時に実施されている日数の拡大を進めてきた。 区立小学校65校中、59校で校内交流型事業を実施している。 令和7年度も、さらに3校で校内交流型事業の実施校を拡大する。	運営を放課後児童クラブと共通の運営事業者に任せることで、放課後および長期休業中、毎日安定的に両事業を実施し、児童の交流や、共通の体験活動ができる環境を確保していく。 校内交流型移行前に放課後子供教室の運営を担っていた地域の組織である「学校応援団」との協力体制を維持し、スタッフや体験活動の指導者について、各小学校周辺地域の人材を積極的に活用していく。	校内交流型実施校のさらなる拡大と、周辺地域の人材の活用を進め、放課後児童クラブを利用している児童を含めて、すべての児童が地域の人材等による体験活動に参加できる状態を目指す。	校内交流型事業を実施している小学校数	62	校	62	62	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた 校内交流型事業実施校拡大については、目標通り達成した。また、放課後児童クラブと放課後子供教室の子どもたちは、遊び場の共有や地域人材が主催する合同のイベントなどを通じて活発に交流するようになっている。 様々な学年の子どもたち、放課後児童クラブ職員、放課後子供教室のスタッフ、地域の方々など多様な関わりの中で子どもたちの遊びや経験が広がっている。 課題としては、校内交流型未実施校が3校あること、冬期の時間が4時半までと実施時間が短くなっていること、夏季長期休業中にすべての小学校での開催にはいたっていないことがあげられる。